

佐久市立中込中学校だより

低處高思

～自ら啓き 未来を拓く～

令和5年4月28日

発行 北垣内 博

令和5年度 新たな出会いに感謝しスタート

「人生は深い縁の不思議な出会いだ めぐり逢いの不思議に手をあわせよう (坂村真民)」

新入生126名を迎え、令和5年度の学校生活が始まりました。中込中学校の生徒一人ひとりに、すべての人にくださった新たな出会いに感謝しつつ、よい年でありたいと思います。

さて、入学式では、近年の感染症の広がりや世界情勢を鑑みれば人が生きていくということは楽しいことばかりではないが、同時に多くの人々が全ての人々が助かるためにはどうすればよいか、何をしたらよくないかを本気になって考えていること、それは中学校生活においても同じであると話しました。

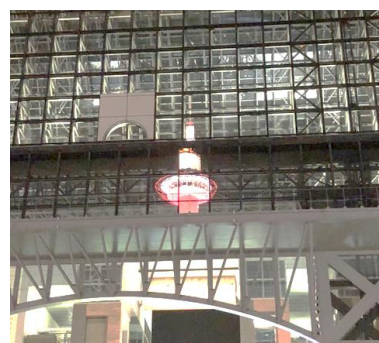
また、「優」の文字を例にテストの点数や運動能力が他の人よりも高いというだけで、その人を優れた人とは言わないこと、「優しい」と「優れる」を表す文字が同じであることから優しさの実践が、私たちの目標であることを伝えました。本当に優れた人、本当に優しい人、悲しく辛い思いをしている人にそっと寄り添える人になるために、精一杯、学んでほしいと思っています。

私たち学校職員は、お預かりいたしました生徒一人ひとりの学校生活が、豊かで充実したものとなるよう励んでまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

悠久の時を越えて ～奈良・京都「古都」の旅～

コロナウイルスの感染が懸念され、延期、見学地の変更等を余儀なくされた3年間を経て、修学旅行は感染防止対策をしながら以前の見学地、行程で行われるようになりました。本校でも3学年が予定した通り無事に行うことができました。今回の修学旅行の実施にあたり、多くの皆様のご理解とご支援をいただき、ありがとうございました。

生徒たちは様々な活動で、仲間と状況を確認しながら判断し、協力することが求められていましたが、3日間の活動を通して「自分を変えていくこと」の大切さを学ぶことができたと思います。この経験が今後の生活に活かされることを期待しています。



【ごあいさつ】

本年度、本校に着任いたしました校長の北垣内(きたがいと・ひろし)です。責任の重大さに身の引き締まる思いです。校長室に掲げられている「低處高思(ていしよこうし)」の教えのもと、微力ながら学校、地域のために力を尽くしていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

相談窓口について

心配なことやわからないことがございましたら、学級担任または以下の職員にご相談ください。また、スクールカウンセラー(SC)と教育相談を行うこともできます。

養護教諭 生徒相談員 教頭